

理財部会講演会のご案内

不動産業は、本来、「内需産業」であり、日本社会や金融情勢の影響を受けるものでしたが、今では、コロナ禍、そしてウクライナ紛争という想定外の海外要因によって、変化を余儀なくされています。今後、「円安」によるインフレが一段と進行することになれば、個人の家計が圧迫され、住宅の実需にも影響が出てくる可能性が高くなります。そして、その結果、不動産価格にも変化が生じることになります。これまでの過熱してきた不動産市場が、転換期に移行しつつある現在、不動産市況に関する的確な予測と助言で全国に多くの支持者を擁する不動産市況アナリストの幸田昌則先生を講師にお招きし、変化した市場の実態・現状を、データを基に解説いただくとともに、今後の市場動向の予測と対応策について、ご講話をいただきます。

開催要領

参加費無料!

◇開催日時：令和4年11月28日(月) 15:30~17:00

演 題：「長期化する「コロナ禍とウクライナ紛争」で不動産市場はどう変わるか？
～ 超低金利が市場を下支えする構図に～」

講 師：ネットワーク88 代表 幸田 昌 則 氏

定 員：150名(定員になり次第締切)

◇会 場：西鉄グランドホテル 2F 鳳凰の間 (福岡市中央区大名 2-6-60)

◇申 込：下記申込書へご記入の上、FAX または HP からお申し込みください。



当所 HP から申込の場合▶ 会合・事業等における対応方針▶



◇申込締切：令和4年11月11日(金)

※当所が行う会合・事業等については、対応方針に基づき、「ワクチン接種歴または陰性判定証明」および「本人確認ができるもの」を受付等で確認させていただくことがございます。あらかじめご了承ください。



【講師略歴】

福岡県出身。九州大学法学部卒。不動産市況アナリスト。
不動産市況の分析や市況予測を行っており、1990年のバブル崩壊以前の1989年11月に発表した「関西圏から不動産価格が大幅に下落する」が不動産業界に波紋を呼んで以来、長年にわたり、その正確な予測には定評がある。
近年は、高齢化社会の進展、人口減少、様々な格差の拡大、更には、ネット社会の到来が、日本の不動産市場に構造的な変化を与えていると分析。コロナ禍によるデジタル化進展の促進も、不動産業界に急激な変化をもたらしたと指摘している。的確な市況分析と助言とで、全国に多くの支持者を擁する業界の第一人者。著書に、「アフターコロナ時代の不動産の公式」(日本経済新聞出版)ほか、多数。

お申し込み・お問い合わせ先：福岡商工会議所 経理・財務グループ TEL 092-441-1115

【「理財部会講演会」参加申込書 兼 参加票】 FAX 092-474-3200

◎ 誠に恐れ入りますが、当日は「お名刺」または「本参加票」を受付にご持参下さい。

貴社名

所在地

電 話

E-mail

	役 職	氏 名
①		
②		
③		

ご記入いただいた情報は、当講演会の実施運営のために利用するほか、今後当所からの各種連絡、情報提供のために利用することがございます。